

みんなで学ぼう！ 町のお金の使い道

今年も町の台所事情をお知らせする時節となりました。平成17年度の1年間で町が使ったお金の中身をご覧ください。今後の町政の動きを知っていただきたいと思ひます。

今年も財政事情に詳しい町のご意見番「彦左衛門」さんの登場です。質問者は町の財政状況を勉強している町民代表の「さくら」さん（町の財政状況を色々知りたい町民代表）、進行役は広報担当「D」が努めさせていただきます。

一般会計

D さて、17年度の決算の特徴を教えてください。

彦左さん 前年度と比べると増加したわけじゃが、知ってのとおり環境や、少子化、防災面など待ったなしでやらにやらならん仕事があつたわけじゃあ！！

さくらさん 歳入がすごく伸びてお金が余っちゃったんですか？

彦左さん そうだといんじやが歳入の中に繰越明許費と言つて、翌年に繰り越して行つたため財源を確保してあるためなんじゃよ。昨年度では、一般廃棄物最終処分場建設費、幸田中体育館改築費、中央公民館改築費、道路用地購入費など約8億円の繰越明許費の財源が含まれていたので、たからお金が余つたように見えるのじゃ。

さくらさん なんだ残念じゃあ歳入は増えなかつたの？

彦左さん そんなことはないぞ。歳入は町税や繰越金、それと施設整備等への国庫支出金などが増えたため繰越明許費分を差し引いても約3億円増加しているのじゃ。

D 昨年度はどんな施設整備が行われたのですか？

彦左さん それじゃあ、17年度

に取り組んだ大きな事業について話をしようぞ。

まず、衛生費では一般廃棄物最終処分場建設事業じゃ。平成19年4月からの供用開始に向け、六栗地区で着々と工事が進んでいるぞ。農林水産業費では、各集落で生活道を始めとする環境整備が進められておるところじゃよ。次に土木費。道路新設改良事業では、平成19年3月供用開始に向けた国道23号関連道路整備工事、また、橋梁の耐震補強工事等災害対策等の予算が使われたのじゃ。教育費では、深溝小学校舎の増築工事などが行われたのじゃ。



建設中の一般廃棄物最終処分場（六栗地区）

これらをひっくるめて普通建設事業と言ひ、総額にすると約35億円、歳出予算全体の27.8%と最も高い割合となるのじゃよ。

費目別区分のグラフを見てみるとそのへんがよう分かるのじゃ。

さくらさん 公債費がすごく減っていますね。

彦左さん お、なかなかするどいのー、一昨年は町債を借換のため一括返還をしたので、特別に多かつたのじゃよ。

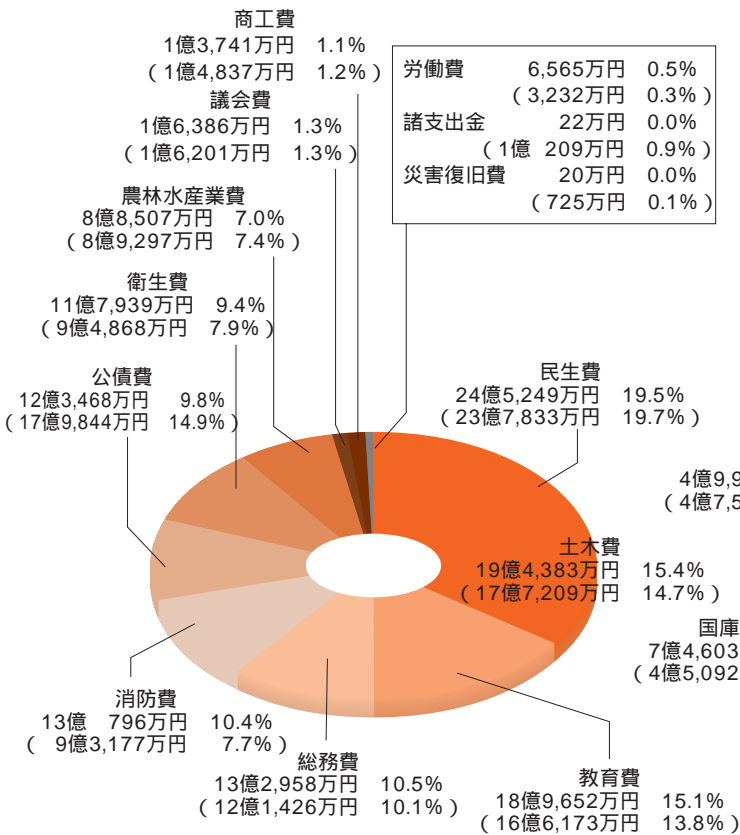
さくらさん あと、物件費も大きな割合を占めていますね。

彦左さん そうじゃな、物件費にはいろいろなる経費が含まれてるのじゃよ。役場など公共施設で働く非常勤職員の賃金を始め事務用品などの消耗品に使われたもので、一番大きいのはなんといつても委託料じゃな。公共施設を維持していくために必要な施設の管理や保守点検を専門の業者に委託した経費なのじゃよ。

D それでは、そのほかの主な費目もどんなものか教えてください。

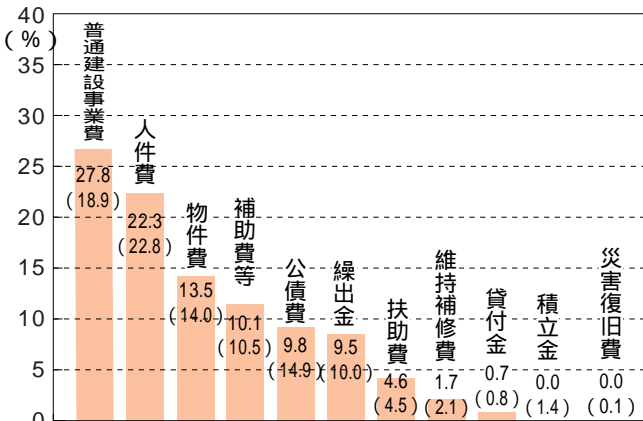
彦左さん そうじゃな、物件費の次に大きい補助費等。これは国や県、他の団体に対する負担金や補助金なのじゃ。社会福祉協議会やシルバー人材センター

歳出 125億9,686万円
(前年度:120億5,112万円)



()は前年度

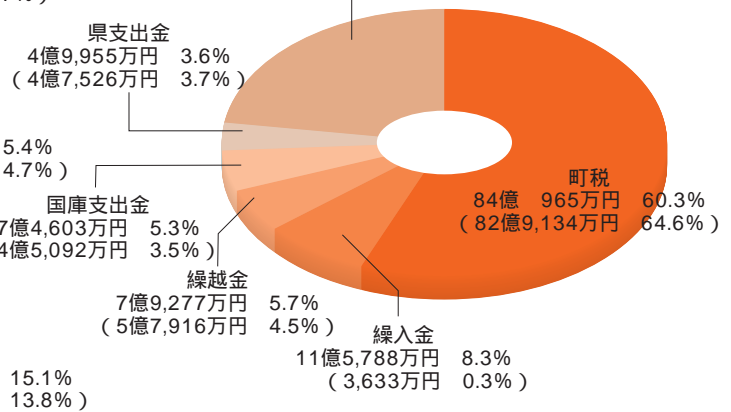
費目別区分



()は前年度

歳入 139億3,602万円
(前年度:128億4,389万円)

地方特例交付金	3億8,414万円	2.8%	(3億3,330万円	2.6%)
諸収入	3億6,259万円	2.6%	(3億5,980万円	2.8%)
地方消費税交付金	3億6,162万円	2.6%	(3億8,896万円	3.0%)
使用料及び手数料	3億1,540万円	2.3%	(2億6,985万円	2.1%)
地方譲与税	2億7,984万円	2.0%	(2億1,970万円	1.7%)
分担金及び負担金	2億718万円	1.5%	(2億774万円	1.6%)
自動車取得税交付金	1億7,451万円	1.2%	(1億7,241万円	1.3%)
町債	1億	0.7%	(9億210万円	7.1%)
地方交付税	3,964万円	0.3%	(5,122万円	0.4%)
利子割交付金	2,730万円	0.2%	(4,098万円	0.3%)
ゴルフ場利用税交付金	2,368万円	0.2%	(2,742万円	0.2%)
株式等譲渡所得割交付金	2,349万円	0.2%	(972万円	0.1%)
配当割交付金	1,528万円	0.1%	(967万円	0.1%)
財産収入	707万円	0.1%	(939万円	0.1%)
交通安全対策特別交付金	633万円	0.0%	(588万円	0.0%)
寄附金	207万円	0.0%	(276万円	0.0%)



町税内訳

固定資産税	42億421万円	50.0%
町民税	36億4,771万円	43.4%
都市計画税	2億7,277万円	3.2%
たばこ税	2億2,574万円	2.7%
軽自動車税	5,922万円	0.7%

()は前年度



の運営補助、委託料もここに分
けられるぞ。
繰出金は、さくらさんに説明
してもらおうかな。
さくらさん まかせてくださ
い。幸田町には特別会計や企業
会計というのがあって、それを
運営するために支出するお金で
すよね。
彦左さん すばらしい!! そのと
おりじゃ。それではここでおさ
らいをしておこうかの。
これまでの話は、一般会計
と言ってな、税金などを財源と
して行政活動の基本的な経費を
賄っておるのじゃ。幸田町には
そのほかに一般会計とは別に区
分されておる7つの特別会計と
1つの企業会計が設けられてお
るのじゃ。これらの特別会計な
どへの運営資金として一般会計
から支出されるお金のことを繰
出金と言つのじゃ。

特別・企業会計

D では、17年度の幸田町の特別会計と企業会計でどのようにお金が使われたのか教えてください。

彦左さん はいはい。一般会計は主に税金を財源として運営されておるのじゃが、特別会計は、ある特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計なのじゃ。

ここからは17年度の特別会計と企業会計について、一つずつ説明していこうかの。

まずは、土地取得特別会計

この会計は、公用・公共用に使われる土地や公共の利益のために事前に土地を購入するための会計なのじゃ。
17年度は、(仮称)深溝運動場用地と鷺田住民広場用地を購入したのじゃ。



国民健康保険事業によるいきいき健康教室

国民健康保険特別会計はな、勤務先で健康保険などの適用を受けない町民のかたが病気やケガをした時に本人の負担以外の医療費を医療機関などに支払ったり、出産や死亡した時に経費の一部を加入者みんなで支給したりする会計なのじゃ。

17年度の加入状況は、5、098世帯10、553人で町民の約3割のかたがこの保険に加入しておるわけじゃ。

老人保健特別会計はな、老後の健康を保つため、予防から医療や機能訓練など総合的な保健医療のために使われておるのじゃ。

17年度末の受給者数は、2、826人で、一人平均で年間67万円の医療費が使われたことになるのじゃ。

介護保険特別会計はな、高齢になつて、寝たきりや介護が必要となつた場合に受ける介護サービスの本人負担以外の経費を、加入者みんなで医療機関などに支払つておるのじゃ。

17年度では、414人が要介護、178人が要支援の認定を受けて各種サービスを受けたのじゃ。

通所介護サービス特別会計はな、幸田町デイサービスセンターを運営するための会計じゃ。介護の認定を受けた人が、健康のチェック、入浴の介助、

機能の回復訓練や介護の相談などのサービスを受けるために使われているのじゃ。

17年度は、延べ850人が利用されておる。

次は、農業集落排水事業特別会計じゃ。

幸田町は、全町下水道化を推進しておる。この会計は農村集落の環境整備の一つとして進められておるのじゃ。町内13地区すべてが供用開始されており、それらの施設の維持管理事業を行つておるのじゃ。

下水道事業特別会計はな、農村集落以外の市街地の下水道整備等を運営しておる。

幸田町では、既存の市街化区域の整備が概ね完了し、周辺集落区域と新市街化区域の整備をしたのじゃ。

17年度末で市街化区域の水洗化人口は、16、584人となり、下水道普及率は57・1%となつたわけじゃ。

最後は、水道事業会計じゃ。この会計は企業会計と言つてな、幸田町の水道事業の運営をする会計なのじゃ。

幸田町の水道普及率は17年度末99・4%で、水源は泉水から水を買つて各家庭に配水しておるのじゃ。17年度の総配水量は約443万立方メートル、ナゴヤドーム2・6杯分となり、前の年より

決算状況

会計名			歳入(a)(伸び率)	歳出(b)(伸び率)	差額(a)-(b)
一 一般会計			139億3,602万円(8.5%増)	125億9,686万円(4.5%増)	13億3,916万円
特別会計	土地取得特別会計		10億2,234万円(81.6%増)	10億1,228万円(79.9%増)	1,006万円
	国民健康保険特別会計		23億8,317万円(8.6%増)	22億9,682万円(10.8%増)	8,635万円
	老人保健特別会計		19億9,667万円(0.9%増)	19億8,985万円(1.0%増)	682万円
	介護保険特別会計		9億9,527万円(14.3%増)	9億6,214万円(11.3%増)	3,313万円
	通所介護サービス特別会計		1,033万円(8.4%増)	1,033万円(8.3%増)	0円
	農業集落排水事業特別会計		3億7,587万円(7.0%増)	3億6,663万円(6.3%増)	924万円
	下水道事業特別会計		10億 537万円(8.7%増)	9億9,738万円(9.4%増)	799万円
企業会計(税抜き)	水道事業会計	収益的収支	6億3,926万円(2.9%増)	5億7,457万円(1.6%増)	6,469万円
		資本的収支	1億7,354万円(8.1%増)	2億4,762万円(10.3%増)	7,408万円
合計			225億3,784万円(9.8%増)	210億5,448万円(7.5%増)	14億8,336万円

* 一般会計歳入には翌年度繰越明許費(事業財源分)8億69万円を含む

指標で見る財政情報

経常収支比率

経常的・義務的経費にあてる割合
65～75%...適正
75%以上...要注意

17年度...75.5%
16年度...77.1%
15年度...77.6%



公債費比率

借金の一般財源に占める割合
10%以下...望ましい

17年度...14.1%
16年度...16.4%
15年度...15.7%



財政力指数

財政上の力を示す指数
指数が1以上の団体は
財政力の強い団体といえる

17年度...1.59
16年度...1.44
15年度...1.29



平成17年度に使われたお金を
町民一人あたりに換算すると...

35万5,994円

(前年度34万5,552円)

125億9,686万円 ÷ 35,385人
(一般会計) (H18.3.31)



町民一人あたりを目的別に見てみると...

1	民生費	6万9,309円 (6万8,196円)
2	土木費	5万4,934円 (5万 813円)
3	教育費	5万3,597円 (4万7,648円)
4	総務費	3万7,575円 (3万4,817円)
5	消防費	3万6,963円 (2万6,717円)
6	公債費	3万4,893円 (5万1,568円)
7	衛生費	3万3,330円 (2万7,202円)
8	農林水産業費	2万5,012円 (2万5,605円)
9	議会費	4,631円 (4,645円)
10	商工費	3,884円 (4,254円)
11	労働費	1,855円 (927円)
12	諸支出金	6円 (2,951円)
12	災害復旧費	6円 (208円)

()は前年度

決算審査報告

幸田町監査委員

内田俊彦
山口文雄

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などはいずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は正確であり、執行は概ね適正であると認められた。

一般会計・特別会計

歳入については、固定資産税の増加により、町税全体では増収となった。歳出については、一般廃棄物最終処分場、道路橋梁整備、土地区画整理、小中学校整備など町民の暮らしを守るための各種事業が実施された。また、経費の節減に努められており、総じて計画的な行政運営に鋭意努力され、所期の目的を概ね達成されたと認められ

も16万立方メートル増加となったわけ
じゃ。

どうじゃな、厳しい状況の中、
限られた財源を活かして、幸田
町では実に様々な事業が進めら
れておるのじゃ。分かってもら
えたかのう。

さくらさん よく分かりまし
た。17年度も、いろいろな事業
が進められて、いろいろなこと
に使われていたのですね。これ

からもお金の使われかたに関心
を持っていきたいと思います。

D ここではほんの少ししかお
伝えできませんが、詳しいこと
がお知りになりたいかたは、幸
田町のホームページをご覧にな
るか、役場へ来て聞いてくださ
いね。

問合せ 財政課財政係

(内線314)

る。

水道事業会計

水道施設の成績指標ともいわ
れる有収率は、県内平均を上回
る高い率を維持している。今後
とも水道施設の耐震化などに
り、災害に強い施設の構築に取
り組みしていく必要がある。清
浄にして豊富低廉な水の供給を
図るため、より一層の経営努力
をお願いしたい。

以上のとおりであるが、脚、
腰の強い団体を目指し、町民の
安全・安心なまちづくり、災害
に強いまちを構築するための大
規模事業も控えている。今後と
も安定財源の確保に努め、効果
的な行政運営を推進し、町民
生活の向上が図られる施策の展
開を強く望むものである。
(平成17年度決算審査意見書か
ら)